

事業活動の環境負荷を把握し、効果的な負荷低減に努めています。

事業活動にかかわる環境負荷の認識

Web検索 05

NTTグループは、従業員数20万人を超え、事業規模も大きいだけに、調達から物流、工事、運用、サービス・商品の提供といった事業展開による環境負荷も大きいことは事実です。とくに、情報通信サービスを支えるネットワーク設備などの電力使用による「温室効果ガス排出」、使用済み設備などの「廃棄物」、電話帳などの「紙資源の使用」の3項目を顕著な環境負荷と認識しています。電力使用量は全国購入電力量の0.8%、紙資源消費量は全国消費量の0.3%、廃棄物排出量は全国産業廃棄物量の0.2%に相当します。

NTTグループでは、これら3項目に関して2010年までの行動計画目標*を策定し、事業活動の環境負荷低減に努めています。

*行動計画目標については以下をご覧ください。

「NTTグループ主要行動計画目標」で定めた、3つの環境負荷低減目標（2010年までの目標値）

- 温暖化防止… CO₂排出量を1990年レベル以下とする
- 廃棄物削減… 最終廃棄量を1990年レベルの15%以下に削減する
- 紙資源節減… 純正パルプ総使用量を1990年比の80%以下に削減する

各項目の環境負荷の推移と2003年度のレビューについては、それぞれ以下のページをご覧ください。

- 地球温暖化防止… p13～14
- 廃棄物削減… p15～16
- 紙資源節減… p17

